

お台場旧防波堤（2 島）における鳥類のモニタリング調査 春季調査（4 月）報告書

2024 年 5 月 一般社団法人お台場海づくり協議会

1. 調査目的

本調査は、お台場海浜公園内防波堤（以下、旧防波堤と記す）において鳥類の利用状況や経年変化を把握し、鳥類の生息環境保全について検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

旧防波堤 2 島及び周辺水域（周辺 50m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
令和 6 年 4 月 23 日 (水)	8 : 00 ~ 14 : 00	曇り一時雨

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8~10 倍程度の双眼鏡や倍率 20~60 倍程度の望遠鏡等を必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、(2) ~ (4) の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。また、補足調査として (5) の調査を実施した。

(1) 船上センサス

2 島の 50m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、2 島及び周辺を観察し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

(2) ラインセンサス

2 島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1~2km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。センサスルートを各島に 1 本設定し、観察範囲を片側 50m（両側 100m）とした。

(3) 定点観察調査

2 島の眺望のよい地点に定点を 2 点ずつ設定し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。観察半径は 50m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

(4) 任意観察調査

2 島の全域を任意に踏査し、目視または鳴き声等で確認された鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

(5) その他

- 自動撮影カメラによる調査

第 5 回秋季調査（※調査回の定義については後述する）においてホンダタヌキのため糞が確認されたことから、島内に生息する生き物の情報を補完するため、同回の冬季調査から自動撮影カメラを西島に 1 台設置した。今回、回収するデータの撮影期間は、前回調査から 100 日間であった（第 9 回冬季調査～第 9 回春季調査）。

- その他の生き物の記録

鳥類調査時に特記すべき生き物が確認された場合は、種名、個体数、行動等を記録した。



写真 1(1) 各調査手法における調査風景



写真 1(2) 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点

5. 評価方法

(1) 調査回の定義

各調査結果をとりまとめ、過去の調査と比較をすることで、今回の調査結果を評価した。調査回の定義を表 2 に示す。今回は第 9 回の春季調査にあたる。

表 2 調査回の定義

調査回	調査時期
第 1 回	平成 27 年夏季～平成 28 年春季
第 2 回	平成 28 年秋季～平成 29 年夏季
第 3 回	平成 29 年秋季～平成 30 年夏季
第 4 回	平成 30 年秋季～令和元年夏季
第 5 回	令和元年秋季～令和 2 年夏季
第 6 回	令和 2 年秋季～令和 3 年夏季
第 7 回	令和 3 年秋季～令和 4 年夏季
第 8 回	令和 4 年秋季～令和 5 年夏季
第 9 回	令和 5 年秋季～令和 6 年夏季

(2) 重要種の選定根拠

重要種の選定根拠を表 3 に示す。いずれかに該当する種を重要種として記録した。

表 3 重要種の選定根拠

No.	選定資料	カテゴリー
①	「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)	特天:特別天然記念物 天 :天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年、法律第 75 号)※以下、種の保存法と記す	国内:国内希少野生動植物種 国際:国際希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト 2020 鳥類」(令和 2 年、環境省) ※以下、環境省 RL と記す	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA 類 EN:絶滅危惧ⅠB 類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
④	東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)2020 年版 『東京都レッドリスト(本土部)2020 年版』 (令和 2 年、東京都)※以下、東京都 RL と記す	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA 類 EN:絶滅危惧ⅠB 類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群 *:留意種 *①: 準絶滅危惧(NT)に準ずる。 *②: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている。

6. 調査結果

(1) 現地調査結果

鳥類確認種目録を表 4、船上センサス結果を表 5、ラインセンサス結果を表 6、定点観察結果を表 7 に示す。

- 現地調査の結果、9 目 21 科 29 種が確認された（表 4）。
- 過去 7 年間の同時期の調査の最大値と同じであり、3 月に行われた大漁桜のライトアップによる環境への影響はみられなかった。
- 確認種の約半数が水域及びその周辺に生息する種であり、15 種（カルガモやカワウ、アオサギ等）が確認された。旧防波堤内では、森林及びその周辺に生息する種として 6 種（アカハラやカワラヒワ、アオジ等）が確認されたほか、都市部で見られる種として 3 種（ツバメ、ムクドリ及びスズメ）、様々な環境で見られる種として 3 種（キジバト、トビ及びハシブトガラス）が確認された（表 4）。
- 当該地域における渡り区分別にみると、留鳥（旧防波堤内で一年中見られる種）の確認種数が最も多く、16 種（ダイサギやヒヨドリ、ハクセキレイ等）が確認された。次いで冬鳥（旧防波堤内で冬に見られる種）が 6 種（スズガモやユリカモメ、アカハラ等）、旅鳥（旧防波堤内で春と秋に見られる種）が 2 種（チュウシャクシギ及びキョウジョシギ）、そして夏鳥（旧防波堤内で夏に見られる種）が 3 種（コチドリ、ツバメ及びオオヨシキリ）確認された。
- 重要種は、スズガモ、ダイサギ、コサギ、オオバン、コチドリ、チュウシャクシギ、イソシギ、キョウジョシギ、ウミネコ、トビ及びオオヨシキリの合計 11 種が確認された（表 4）。島内では、護岸で採餌や休息するオオバンやコチドリ、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、イソシギ、砂地で休息するスズガモが確認された。島外では、海域で飛翔するダイサギ、採餌や遊泳するスズガモが確認された。島内外では、上空を通過するコサギ、ウミネコ及びトビ、高茎草地でさえずるオオヨシキリが確認された。
- 外来種は確認されなかった（表 4）。
- 確認個体数の最も多かった種は、カワウであった。船上センサスでは、両島で合計 670 個体（表 5）、ラインセンサスでは、両島で合計 163 個体が確認され、優占度は東島で 75%、西島では 87%を占めた（表 6）。また、定点観察調査では、両島で合計 338 個体が確認され、優占度は各地点 40～89%を占めた（表 7）。両島ともに広葉樹林で休息する個体が多かったが、繁殖活動中の個体も多く見られ、巣材運びや抱卵行動、抱雛行動、巣内雛、巣立ち雛などが観察された。東島の砂地や護岸では、今年巣立った幼鳥の群れも確認された。営巣数は、東島で 166 巣、西島で 129 巣が確認され、冬季よりやや増加した（冬季の営巣数：東島 131 巣、西島 102 巣）。
- カワウに次いで確認個体数の多かった種は、スズガモであった。船上センサスでは、両島で合計 33 個体（表 5）、ラインセンサスでは、東島で合計 9 個体（表 6）、定点

観察調査では、西島で合計1個体（表7）が確認された。両島周囲の海域で採餌、遊泳する個体が多かったほか、東島の砂地で休息する個体も少数確認された。

- 各調査手法のうち、確認個体数が比較的多かった種は、カルガモやアオサギ、ヒヨドリであった。カルガモは、船上センサスにおいて両島で合計15個体（表5）、定点観察調査において両島で合計12個体（表7）、アオサギは、船上センサスにおいて両島で合計19個体（表5）、ヒヨドリは、定点観察調査において両島で合計23個体（表7）が確認された。カルガモやアオサギは、護岸や砂地で休息する個体が多く、東島ではアオサギの営巣も確認された。ヒヨドリは、広葉樹林で採餌する個体が多く見られ、西島では西側の海域から群れで飛来してきたことから、渡り個体が両島を採食地や休息地として利用していたと考えられる。なお、鳥の島におけるアオサギの営巣は、調査開始以降初めて観察され、東島で3巣が確認された。このうち、2巣で巣上にとまる成鳥各1個体、1巣で抱卵または抱雛を行う成鳥1個体が確認された。

（2） 過去調査との比較

それぞれの前回調査との比較について、表8に確認種、表9に船上センサス結果、表10にラインセンサス結果、表11に定点観察結果、表12にこれまでの鳥類確認種目録を示す。

- 第8回（前回調査）と第9回（今回調査）の確認種数は、第8回では東島で27種、西島で19種、合計28種、第9回では東島で22種、西島で24種、合計27種であった（表8）。第8回及び第9回で確認された共通種は23種となり、第8回の確認種全体の約8割であったことから、鳥類相に大きな変化は見られなかった。
- 第8回で確認されず第9回で確認された種は、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、オオヨシキリ及びアカハラの4種であった（表8）。チュウシャクシギ及びキョウジョシギは旅鳥であり、これまで春季のみ確認されている記録が少ない種である。また、オオヨシキリ及びアカハラは、いずれも旧防波堤では不定期的に記録される種であることから、第8回では確認されなかったと考えられる。
- 第8回で確認され第9回で確認されなかった種は、カイツブリ、カンムリカイツブリ、セグロカモメ、メジロ及びドバトの5種であった（表8）。そのうち、カイツブリ、カンムリカイツブリ及びセグロカモメは冬鳥であり、今回調査時には既に渡去していた可能性がある。メジロ及びドバトは、第9回の秋季及び冬季調査で確認されており、今回調査では一時的に確認されなかったと考えられる。
- 第8回より第9回で個体数が増加した種は、カワウであった（表9、10、11）。営巣数は、第8回では東島で101巣、西島で80巣、第9回では東島で166巣、西島で129巣が確認され、第8回より増加した。繁殖場所としての利用数の増加が、個体数の増加の一因と考えられる。

(3) その他

自動撮影カメラによる調査及び鳥類調査時に確認されたその他の生き物の記録を整理した結果、鳥類6目7科8種、哺乳類1目1科1種、両生類1目1科1種が確認された。

- 自動撮影カメラの画像を解析した結果、鳥類ではカルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、トビ、オオタカ、ハシブトガラス及びシロハラの8種、哺乳類ではドブネズミ、両生類ではカエル目の一種が確認された。
- 自動撮影カメラにおいて、枝をくわえるカワウ及びアオサギが撮影された。これらの種は、旧防波堤内で営巣を確認しており、巣材を採取していたと考えられる。また、ハシブトガラスに捕食されるカエル類が撮影されたが、種の同定には至らなかった。ウシガエルの可能性がある。

表 4 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	渡り区分	調査時期		重要種選定基準			
					春季(4月)		①	②	③	④
					東島	西島				
1	カモ	カモ	カルガモ	留鳥	○	○				
2			スズガモ	冬鳥	○	○				*②
3	ハト	ハト	キジバト	留鳥	○	○				
4	カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	○	○				
5	ペリカン	サギ	アオサギ	留鳥	○	○				
6			ダイサギ	留鳥	○					NT
7			コサギ	留鳥	○	○				VU
8	ツル	クイナ	オオバン	冬鳥		○				CR
9	チドリ	チドリ	コチドリ	夏鳥	○	○				CR
10		シギ	チュウシャクシギ	旅鳥		○				VU
11			イソシギ	留鳥	○	○				VU
12			キョウジョシギ	旅鳥		○				VU
13		カモメ	ユリカモメ	冬鳥	○	○				
14			ウミネコ	留鳥	○	○				*①
15	タカ	タカ	トビ	留鳥	○	○				NT
16	スズメ	カラス	ハシブトガラス	留鳥	○	○				
17		シジュウカラ	シジュウカラ	留鳥	○	○				
18		ツバメ	ツバメ	夏鳥	○	○				
19		ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	○	○				
20		ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥	○					CR
21		ムクドリ	ムクドリ	留鳥	○					
22		ヒタキ	アカハラ	冬鳥		○				
23			ツグミ	冬鳥		○				
24		スズメ	スズメ	留鳥	○	○				
25		セキレイ	ハクセキレイ	留鳥	○	○				
26		アトリ	カワラヒワ	留鳥	○	○				
27		ホオジロ	アオジ	冬鳥	○	○				
28	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	○					NT
29			カンムリカイツブリ	冬鳥	○	○				*②
合計	9 目	21 科	29 種	-	24 種	25 種	0 種	0 種	0 種	13 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は表 3 に従った。

表 5 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				春季(4月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	カルガモ	3	12	15
2			スズガモ	8	25	33
3	カツオドリ	ウ	カワウ	483	187	670
4	ペリカン	サギ	アオサギ	16	3	19
5			ダイサギ	1	0	1
6	ツル	クイナ	オオバン	0	1	1
7	チドリ	チドリ	コチドリ	0	2	2
8		シギ	チュウシャクシギ	0	2	2
9			イソシギ	3	3	6
10			キョウジョシギ	0	1	1
11		カモメ	ユリカモメ	0	10	10
12			ウミネコ	0	8	8
13	タカ	タカ	トビ	0	1	1
14	スズメ	カラス	ハシブトガラス	2	0	2
15		ツバメ	ツバメ	1	0	1
16		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	1	3
17		スズメ	スズメ	2	0	2
合計	7 目	12 科	17 種	521	256	777
				10 種	13 種	17 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				春季(4月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カモ	カモ	カルガモ	2	1%	0	0%	2
2			スズガモ	9	7%	0	0%	9
3	ハト	ハト	キジバト	0	0%	3	4%	3
4	カツオドリ	ウ	カワウ	103	75%	60	87%	163
5	ペリカン	サギ	アオサギ	5	4%	0	0%	5
6	チドリ	シギ	イソシギ	2	1%	0	0%	2
7		カモメ	ウミネコ	6	4%	0	0%	6
8	スズメ	カラス	ハシブトガラス	2	1%	0	0%	2
9		シジュウカラ	シジュウカラ	1	1%	0	0%	1
10		ツバメ	ツバメ	1	1%	1	1%	2
11		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	1%	0	0%	1
12		ヒタキ	アカハラ	0	0%	1	1%	1
13		スズメ	スズメ	5	4%	0	0%	5
14		アトリ	カワラヒワ	0	0%	2	3%	2
15		ホオジロ	アオジ	1	1%	2	3%	3
合計	6 目	14 科	15 種	138	100%	69	100%	207
				12 種		6 種		15 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 7 定点観察結果

No.	目名	科名	種名	調査時期								合計 個体 数
				春季(4月)								
				東島				西島				
				P1		P2		P3		P4		
				個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	
1	カモ	カモ	カルガモ	0	0%	2	3%	2	11%	0	0%	4
2			スズガモ	0	0%	9	13%	1	6%	40	82%	50
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1
4	カツオドリ	ウ	カワウ	28	43%	35	49%	0	0%	0	0%	63
5	ペリカン	サギ	アオサギ	2	3%	1	1%	1	6%	0	0%	4
6	ツル	クイナ	オオバン	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%	1
7	チドリ	チドリ	コチドリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	1
8		シギ	イソシギ	1	2%	0	0%	1	6%	1	2%	3
9		カモメ	ユリカモメ	14	22%	13	18%	1	6%	0	0%	28
10			ウミネコ	3	5%	1	1%	0	0%	2	4%	6
11			セグロカモメ	0	0%	0	0%	3	17%	1	2%	4
12	タカ	タカ	トビ	0	0%	0	0%	4	22%	0	0%	4
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	10	15%	1	1%	3	17%	0	0%	14
14		ツバメ	ツバメ	1	2%	2	3%	0	0%	0	0%	3
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	2%	2	3%	0	0%	2	4%	5
16		ムクドリ	ムクドリ	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	2
17		ヒタキ	ツグミ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1
18		スズメ	スズメ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2
19		セキレイ	ハクセキレイ	0	0%	0	0%	1	6%	1	2%	2
20		アトリ	カワラヒワ	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	3
21	ハト	ハト	ドバト	0	0%	2	3%	0	0%	1	2%	3
合計	9 目	18 科	21 種	65	100%	72	100%	18	100%	49	100%	204
				10 種		13 種		10 種		8 種		21 種

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 8 前回調査結果との比較：確認種

No.	種名	調査時期			
		春季(4月)			
		第8回(R4～R5)		第9回(R5～R6)	
		東島	西島	東島	西島
1	カルガモ	○	○	○	○
2	スズガモ	○	○	○	○
3	カイツブリ	○		○	
4	カンムリカイツブリ	○	○	○	○
5	キジバト	○	○	○	○
6	カワウ	○	○	○	○
7	アオサギ	○	○	○	○
8	ダイサギ	○		○	
9	コサギ	○		○	○
10	オオバン		○		○
11	コチドリ	○	○	○	○
12	チュウシャクシギ				○
13	イソシギ	○	○	○	○
14	キョウジヨシギ				○
15	ユリカモメ	○	○	○	○
16	ウミネコ	○	○	○	○
17	セグロカモメ	○	○		
18	トビ	○	○	○	○
19	ハシブトガラス	○	○	○	○
20	シジュウカラ	○		○	○
21	ツバメ	○		○	○
22	ヒヨドリ	○	○	○	○
23	メジロ	○			
24	オオヨシキリ			○	
25	ムクドリ	○		○	
26	アカハラ				○
27	ツグミ	○			○
28	スズメ	○	○	○	○
29	ハクセキレイ	○	○	○	○
30	カワラヒワ	○		○	○
31	アオジ	○	○	○	○
32	ドバト	○	○		
合計	32 種	27 種	19 種	24 種	25 種
		28 種		27 種	

表 9 前回調査との比較：船上センサス結果

No.	種名	調査時期			
		春季(4月)			
		第8回(R4～R5)		第9回(R5～R6)	
		東島	西島	東島	西島
1	カルガモ	3	11	3	12
2	スズガモ	8	0	8	25
3	カワウ	127	79	483	187
4	アオサギ	17	10	16	3
5	ダイサギ	2	0	1	0
6	オオバン	0	3	0	1
7	コチドリ	0	0	0	2
8	チュウシャクシギ	0	0	0	2
9	イソシギ	2	4	3	3
10	キョウジョシギ	0	0	0	1
11	ユリカモメ	10	20	0	10
12	ウミネコ	0	0	0	8
13	セグロカモメ	1	0	0	0
14	トビ	0	0	0	1
15	ハシブトガラス	2	1	2	0
16	ツバメ	0	0	1	0
17	ヒヨドリ	0	0	2	1
18	スズメ	0	0	2	0
19	ハクセキレイ	1	0	0	0
合計個体数		173	128	521	256
合計島別種数		10 種	7 種	10 種	13 種
合計種数		11 種		17 種	

表 10 前回調査との比較：ラインセンサス結果

No.	種名	調査時期							
		春季(4月)							
		第8回(R4～R5)				第9回(R5～R6)			
		L1(東島)		L2(西島)		L1(東島)		L2(西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	3	3%	6	27%	2	1%	0	0%
2	スズガモ	5	5%	0	0%	9	7%	0	0%
3	キジバト	1	1%	1	5%	0	0%	3	4%
4	カワウ	76	76%	5	23%	103	75%	60	87%
5	アオサギ	2	2%	1	5%	5	4%	0	0%
6	ダイサギ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
7	コサギ	4	4%	0	0%	0	0%	0	0%
8	オオバン	0	0%	3	14%	0	0%	0	0%
9	コチドリ	1	1%	2	9%	0	0%	0	0%
10	イソシギ	1	1%	0	0%	2	1%	0	0%
11	ウミネコ	0	0%	1	5%	6	4%	0	0%
12	ハシブトガラス	3	3%	0	0%	2	1%	0	0%
13	シジュウカラ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
14	ツバメ	0	0%	0	0%	1	1%	1	1%
15	ヒヨドリ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
16	アカハラ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
17	スズメ	2	2%	3	14%	5	4%	0	0%
18	カワラヒワ	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%
19	アオジ	1	1%	0	0%	1	1%	2	3%
合計	19 種	100	100%	22	100%	138	100%	69	100%
		12 種		8 種		12 種		6 種	

表 11 前回調査との比較：定点観察結果

No.	種名	調査時期															
		春季(4月)															
		第8回(R4～R5)								第9回(R5～R6)							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度	個 体 数	優 占 度
1	カルガモ	0	0%	2	3%	2	11%	0	0%	1	0%	4	5%	2	5%	5	13%
2	スズガモ	0	0%	9	13%	1	6%	40	82%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
3	カンムリカイツブリ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4	カワウ	28	43%	35	49%	0	0%	0	0%	244	89%	54	64%	24	62%	16	40%
5	アオサギ	2	3%	1	1%	1	6%	0	0%	1	0%	1	1%	1	3%	0	0%
6	コサギ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%	1	3%	0	0%
7	オオバン	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8	コチドリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	2	2%	0	0%	1	3%
9	チュウシャクシギ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%
10	イソシギ	1	2%	0	0%	1	6%	1	2%	3	1%	0	0%	0	0%	0	0%
11	ユリカモメ	14	22%	13	18%	1	6%	0	0%	5	2%	1	1%	1	3%	2	5%
12	ウミネコ	3	5%	1	1%	0	0%	2	4%	3	1%	2	2%	1	3%	1	3%
13	セグロカモメ	0	0%	0	0%	3	17%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	トビ	0	0%	0	0%	4	22%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	ハシブトガラス	10	15%	1	1%	3	17%	0	0%	2	1%	1	1%	1	3%	0	0%
16	シジュウカラ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	3	4%	3	8%	0	0%
17	ツバメ	1	2%	2	3%	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%	1	3%	0	0%
18	ヒヨドリ	1	2%	2	3%	0	0%	2	4%	2	1%	8	9%	0	0%	13	33%
19	ムクドリ	0	0%	2	3%	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%
20	ツグミ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
21	スズメ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	6	2%	2	2%	0	0%	0	0%
22	ハクセキレイ	0	0%	0	0%	1	6%	1	2%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%
23	カワラヒワ	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	6%	3	8%	0	0%
24	ドバト	0	0%	2	3%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	24 種	65	100%	72	100%	18	100%	49	100%	273	100%	85	100%	39	100%	40	100%
		10 種		13 種		10 種		8 種		13 種		12 種		11 種		7 種	

表 12 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 6 回)

No.	種名	調査時期											
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～R2 夏)		第 6 回 (R2 秋～R3 夏)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		○	○			
2	ヒドリガモ									○	○		
3	マガモ		○	○	○		○	○	○				
4	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	ハシビロガモ												○
6	オナガガモ				○	○	○			○			
7	コガモ							○					
8	ホシハジロ						○	○		○	○	○	
9	キンクロハジロ										○		
10	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ホオジロガモ												
12	ウミアイサ		○					○	○	○			○
13	カイツブリ												
14	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	ミミカイツブリ			○								○	
16	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○	○	○	○	○
17	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	ゴイサギ					○							
20	ササゴイ		○										
21	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	チュウサギ									○			
24	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	カッコウ科の一種											○	
27	コチドリ	○	○		○	○	○			○	○	○	
28	ヤマシギ												●
29	タシギ								○				
30	チュウシャクシギ												
31	キアシシギ									○			
32	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	キョウジョシギ					○	○						
34	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	カモメ	○	○			○							
37	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○					○	
39	コアシサシ	○	○	○	○	○	○		○				
40	ミサゴ	○		○			○		○		○	○	
41	ハチクマ	○											
42	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	ハイタカ		○		○					○			
44	オオタカ	○		○	○	○	○		○		●	○	●

表 12 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 6 回)

No.	種名	調査時期											
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31/R1 夏)		第 5 回 (R1 秋～R2 夏)		第 6 回 (R2 秋～R3 夏)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
45	ノスリ		○	○	○	○		○		○		○	○
46	オオコノハズク												
47	カワセミ			○			○			○		○	
48	チョウゲンボウ		○				○	○					
49	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○				
50	モズ			○	○	○	○	○	○	○	○		
51	カケス				○								
52	オナガ			○	○	○	○			○			
53	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	ヤマガラ												○
55	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	ヒバリ						○						
57	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
60	オオムシクイ								○				○
61	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
62	オオヨシキリ			○		○				○	○	○	
63	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
64	コムクドリ				○	○							
65	シロハラ	○	○	○	○						●		○
66	アカハラ	○			○			○			○		
67	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	インビヨドリ	○	○		○		○		○		○		○
70	キビタキ	○				○							
71	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	キセキレイ			○									
73	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	セグロセキレイ				○								○
75	タヒバリ						○				○		
76	カララヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	シメ							○				○	
78	ホオジロ	○		○	○			○		○			
79	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	オオジュリン			○						○			
81	ドバト	○	○					○			○	○	○
合計	81 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	38 種	38 種	44 種	41 種	40 種	38 種
		46 種		53 種		51 種		47 種		52 種		50 種	

表 12 (3) 鳥類確認種目録 (第 7 回～第 9 回)

No.	種名	調査時期					
		第 7 回 (R3 秋～R4 夏)		第 8 回 (R4 秋～R5 夏)		第 9 回 (R5 秋～R6 夏)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ						
2	ヒドリガモ		○				○
3	マガモ						
4	カルガモ	○	○	○	○	○	○
5	ハシビロガモ	○	○				
6	オナガガモ	○					
7	コガモ	○				○	○
8	ホシハジロ		○	○	○	○	
9	キンクロハジロ						
10	スズガモ	○	○	○	○	○	○
11	ホオジロガモ	○					
12	ウミアイサ	○		○	○	○	○
13	カイツブリ			○		○	
14	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○
15	ミミカイツブリ						
16	ハジロカイツブリ	○	○	○	○	○	
17	キジバト	○	○	○	○	○	○
18	カワウ	○	○	○	○	○	○
19	ゴイサギ						
20	ササゴイ						
21	アオサギ	○	○	○	○	○	○
22	ダイサギ	○	○	○	○	○	
23	チュウサギ						
24	コサギ	○	○	○	○	○	○
25	オオバン	○	○	○	○	○	○
26	カッコウ科の一種						
27	コチドリ	○	○	○	○	○	○
28	ヤマシギ						
29	タシギ						
30	チュウシャクシギ		○				○
31	キアシシギ						
32	イソシギ	○	○	○	○	○	○
33	キョウジョシギ		○				○
34	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○
35	ウミネコ	○	○	○	○	○	○
36	カモメ						
37	セグロカモメ	○	○	○	○		○
38	オオセグロカモメ	○	○				
39	コアジサシ						
40	ミサゴ						
41	ハチクマ						
42	トビ	○	○	○	○	○	○
43	ハイタカ					○	
44	オオタカ		●		○	○	○

表 12 (4) 鳥類確認種目録 (第 7 回～第 9 回)

No.	種名	調査時期					
		第 7 回 (R3 秋～R4 夏)		第 8 回 (R4 秋～R5 夏)		第 9 回 (R5 秋～R6 夏)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島
45	ノスリ	○	○		○	○	○
46	オオコノハズク		●				
47	カワセミ	○					
48	チョウゲンボウ				○		
49	ハヤブサ		○				○
50	モズ	○					
51	カケス					○	
52	オナガ						
53	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○
54	ヤマガラ						
55	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○
56	ヒバリ						
57	ツバメ	○	○	○	○	○	○
58	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○
59	ウグイス	○	○		○		
60	オオムシクイ						
61	メジロ	○	○	○	○	○	
62	オオヨシキリ					○	
63	ムクドリ	○	○	○	○	○	○
64	コムクドリ						
65	シロハラ	○	○		○		●
66	アカハラ				●		○
67	ツグミ	○		○	○	○	○
68	ジョウビタキ	○	○	○	○	○	○
69	イソヒヨドリ	○	○	○	○		○
70	キビタキ						
71	スズメ	○	○	○	○	○	○
72	キセキレイ						
73	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○
74	セグロセキレイ						
75	タヒバリ						
76	カララヒワ	○	○	○	○	○	○
77	シメ						
78	ホオジロ			○			
79	アオジ	○	○	○	○	○	○
80	オオジュリン						
81	ドバト	○	○	○	○	○	○
合計	81 種	41 種	41 種	34 種	38 種	37 種	37 種
		48 種		40 種		44 種	

注 1. ●: 自動撮影カメラのみで確認された種を示す。



写真 2(1) 確認された主な鳥類

 オオバン(重要種)	 コチドリ(重要種)
 チュウシャクシギ(重要種)	 イソシギ(重要種)
 キョウジョシギ(重要種)	 ユリカモメ
 ウミネコ(重要種)	 トビ(重要種)

写真 2(2) 確認された主な鳥類

	
ハシブトガラス	シジュウカラ
	
ヒヨドリ	アカハラ
	
スズメ	ハクセキレイ
	
カワラヒワ	アオジ

写真 2(3) 確認された主な鳥類



写真 3(1) 自動撮影カメラで確認された生き物



ドブネズミ



カエル目の一種(ハシブトガラスに捕食される)

写真 3(2) 自動撮影カメラで確認された生き物

参考資料

過去 7 年間 同時期の調査について

調査期日	調査時間	天候	目数	科数	種数
2023年4月22日	8 : 00～14 : 00	曇り	9	21	28
2022年4月25日	8 : 00～14 : 00	晴	8	18	26
2021年4月19日	8 : 00～14 : 00	晴	9	20	26
2020年4月16日	8 : 00～14 : 00	晴のち曇	9	19	27
2019年4月18日	8 : 00～14 : 00	晴	9	18	25
2018年4月23日	8 : 00～14 : 00	曇	9	19	29
2017年4月24日	8 : 00～14 : 00	晴	9	20	29

平均値	8.86	19.29	27.14
最大値	9	21	29
最小値	8	18	25

本年度調査

調査期日	調査時間	天候	目数	科数	種数
2024年4月23日	8 : 00～14 : 00	曇一時雨	9	21	29